

「求職者支援訓練サポート講習」を開催しました！

テーマ：早期就職を実現させる訓練運営

- 1 日時
令和6年11月27日（水）13：30～16：30
- 2 会場
ポリテクセンター兵庫（尼崎市武庫豊町）
- 3 参加者数
10機関12名

※多くの実施機関の責任者等の方々が参加されました。
 ※兵庫労働局、ハローワーク神戸、兵庫県の職員の方々（4名）も聴講されました。



開催の様子（3チームに分かれてグループワーク等も実施）

- 4 主な内容
 - 1 訓練運営の質とは
 - 2 訓練運営フローを検証する
 - 3 「訓練運営の取組事例」に関する意見交換
 - 4 訓練運営において大事な5つのキーワード

▶ 講習内容の一部を紹介します

講習の到達目標

- ① 訓練の質向上のためには**運営全体**における取り組みが必要であることが理解できる。
- ② 質を維持していくためには**継続した「カイゼン活動」**が重要であることが理解できる。
- ③ 「就職」という成果のためには、**その要因（プロセス）のマネジメント**が重要であることが理解できる。
- ④ 情報交換によって自施設の取り組みを見直すための**ヒントを得ることができる。**
- ⑤ **明日からできる取り組み**を明確にして、自施設へ持ちかえることができる。

目標を立てました！

質を高める要因とは

「就職（＝結果）」自体をコントロールすることはできない。
 よいプロセスはよい結果を生む。

訓練運営のプロセスに目を向ける

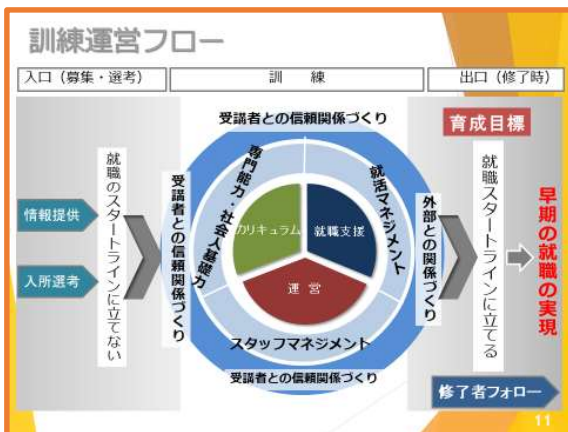
↔

各プロセスの最適化を図る

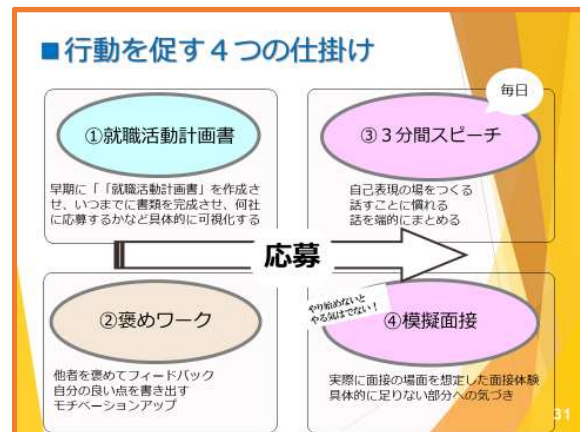
求職者支援訓練の目的 → 「受講者の就職」
 「就職」という「結果」を導くプロセスに必要な「要因」とその「質」とは何か？

「結果」の質を問うためには「要因（プロセス）」の質を考えていかなければならない。
 この「プロセス」をマネジメント（コントロール）する。

就職のためにはプロセスの質向上が大事！



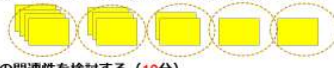
訓練運営フローのプロセスを細かく検証！




参加機関の方々も実践している？

グループワークの進め方

(1) 取組の分類（各自で記入 と 各自の発表 計20分）
 自機関で行っている「特徴的な取組」を列挙し、似ているもの同士でグループをつくる。
（※グループに属さない付箋は無理にどこかに括弧する必要はありません。）



(2) グループの関連性を検討する（10分）
 グループに表札（タイトル）をつける。



(3) 発表に向けて取組について議論する（10分）
 大きく括った表札をみて、「なぜ重要なのか」その根拠を考えて意見交換を行う。

4. 組織力（脱・属人的）

個人の経験に依存した運営になっていないか？

属人的		→	組織的	
K	勘		K	仮説
K	経験		K	検証
D	度胸		D	データ

各機関の取組を付箋紙で書き出して
 情報交換しました！ ※

訓練運営のキーワードの一例
 （個人知見に頼りすぎていませんか？）

※グループワークの詳細

特徴的な取組を「カリキュラム」「運営」「就職支援」に分類して発表
 いただきました。

- カリキュラム例：ニーズに合わせた見直し、グループワークの導入
- 運営例：スタッフ間連携で縦割防止、各担当による毎朝の挨拶徹底
- 就職支援例：毎日スピーチで面接力UP、終了後の就職フォロー

5 参加者の声（アンケート調査結果〈有効回答者数12名〉）

項目	回答数
満足	7
やや満足	3
やや不満	2
不満	0
合計	12

項目	回答数
活用できる	8
どちらかといえば活用できる	3
どちらかといえば活用できない	1
活用できない	0
合計	12

◆ご意見・ご感想とコメント

- ・運営において大切なことや必要な視点・考え方を学ぶことができた。
 →是非、その実践を期待しています。
- ・他機関の取組が参考となり、早速持ち帰って検討したい。
 →そのスピード感に敬意を表します。
 3か月後のアンケート結果を楽しみにしております。
- ・情報交換の場をもっと設けてほしかった。
 →限られた時間での進行であり、ご不便をおかけしました。
 次回は、十分な時間を設けるよう努めます。